

校報 まきがね

恵那西中学校だより 第9号

令和2年12月1日(火)発行



Don't stop!



～ かけがえのない中学校生活を止めない ～

校長 熊崎 健一

先月19日、3年生が“日帰り修学旅行”で高山市に出かけました。紅葉のピークは過ぎていましたが、赤や黄色に染まった落ち葉が風に舞う様子もなかなか趣がありました。また、出発時には少し降っていた雨も止み、温かい日差しのもとで活動することができました。

飛騨民俗村での体験活動。さるぼぼや組紐づくりなどに、生徒は夢中になって取り組みました。昼食は、ホテルで飛騨牛のステーキをメインとしたコース料理をいただきました。テーブルマナー講座を兼ねていましたので、慣れないフォーク・ナイフの扱いなどに悪戦苦闘しながらも、美味しくいただくことができました。午後は、市内散策。限られた時間の中で古い町並みを歩き、町の雰囲気を楽しんだりお土産物を選んだりしました。GoTo トラベルの地域限定クーポンをうまく使うことも体験しました。あっという間の一日でしたが、「楽しかった!」「また、高山に行きたい!」「泊りじゃなくても十分楽しめた!」といいながら笑顔でバスを降りてきてくれる生徒の姿を見ながら、どんな形にせよ実施できたことへの喜びや安堵を感じていました。

本来なら東京方面・二泊三日の大イベントですが、二転三転の末、県内日帰りという決断をしました。きっと、東京でしか体験できないこともあったでしょう。一人一人に楽しみにしていたことがあったでしょう。でも、そんなことでいつまでもくよくよしたり愚痴ったりすることなく、高山の一日を大いに楽しもうとしてくれた3年生に頼もしささえ感じることでできた一日でした。

コロナ禍でスタートした今年度。“例年どおり”は、一切通用しません。何をやるにしても制限・制約があります。そして、その状況は刻々と変化しています。近頃では、ワクチンの完成や認可というようなニュースも聞こえてきますが、国内の感染拡大状況はご承知のとおり。まだまだ出口は見えてこないのが現状です。そんな今でさえ、生徒にとっては“かけがえのない中学校生活”の真っ只中です。だからこそ学校は、「その成長を止めない、立ち止まらせない。」という強い決意をもって生徒を迎え入れています。日々の生活や学習の充実を図るとともに、10月実施のウェストン・カップ、各学年の諸行事、そして今月9日の WWA (Weston Walking with Aketetsu!) というように、生徒に主体性や自治力がつき記憶に残る取組を、そして何より「学校は楽しい!」と思えるような“西中コロナチャレンジ”の取組を生徒とともに創り上げていきます。

保護者の皆様には、引き続きのご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

